



「こびり」

「ア、おばちゃんが来てる。」

田植えの朝、父の運転で祖父の田んぼに着くと、盛岡のおばちゃんはずでに田んぼに入れる格好をして、笑顔で私達に近づいて来た。

「兄貴と姉さん（私の祖父母のこと）には来なくていいよ」

と言われたけど、来ちゃったと言って笑った。今年の田植えは、楽しくちよつびりせわしなくなりそう、そんな予感がした。

私も急いで支度をして倉庫を出ると、父はずでに、祖父から説明を受けて田植え機械を操作していた。

おばちゃんは私に気がつく、苗を乗せた一輪車をさっそく私に手渡し、父の所まで運ぶようにと指示をした。

初めての一輪車、なかなか思うようには動いてくれない。

こんな様子を見ていたおばちゃんは、助けるこ

岩手県教育委員会教育長賞



新田 透子さん  
（北上市立黒沢尻西小学校6年）

ともなく、

「でしょ。見てるだけとやってみるとでは大違いでしょ、いい経験だね」

と言って笑っているばかり。

それでも、倉庫と田んぼの往復を何回かくり返すうちに、自由に動かせるようになった。

苗運びが一段落すると、おばちゃんから次の指示が来た。隅っこの手植えだ。

去年もやったが、田んぼに足をとられ尻もちをついてしまい、さんざんだった作業。

今年こそはと田んぼに入ったのだが、やっぱり足がうまく抜けず苦戦していたその時、

「つま先から入って、かかとから先に出る」と、後ろからおばちゃんの声。

言われた通りやってみると確かに楽だ。

普段はおもしろいおばちゃんだが、この日はちよつびりカッコいいと思った。

一枚の田んぼを終えた所で、二人しかいないのにおばちゃんは「女性陣は休憩」と言って、休憩をとってくれた。

透子さんからひとこと

家族総出の田植えの楽しさと臨場感を書きました。協力しながらの作業、労働への格別なごほうびの、こびり、近所の人たちも呼んでわいわいしながらの農作業など、昔ながらのことを大切にしている点、そして、それが自分にとってもとても大切に思えることを知らせたかったです。受賞は2回目なので、よりうれしかったです。家族もとても喜んでくれました。

休憩をしながらおばちゃんは、昔の田植えの様子など楽しい話しをしてくれた。

農作業はズルして逃げ、兄貴にまかせていたことや、こびりの準備だけは真面目に手伝って田んぼに運び、土手一列に並んで皆で食べた事など興味のある話ばかりだった。

そこへ祖母が昼食を作ってくれた。

バスケットの中をのぞくと、黒いおひつが入っていた。気になってふたを取ってみると、湯気とにっしょに炊き込みご飯のいい匂いがした。匂いを嗅いだら急にお腹がすいたので祖母に「食べていい？」と聞くと

「本当は皆が揃ってからだけど、頑張ったから早目の昼食にする？」と言って、女性三人、にぎやかな食事となった。

皆で食べたせいか働いたせいか、こびりは今も昔もおいしい物だと思った。

帰る時、祖母が残ったご飯をおにぎりにして一つ持たせてくれた。お兄ちゃんへと言われたが、帰りの車の中で食べてしまった。

JA岩手県五連会長賞



多田 朝飛さん  
（北上市立黒沢尻北小学校3年）

「おじいちゃんのお米」

ぼくのおじいちゃん、おばあちゃんの家では、お米を作っています。お米がなくなるとおじいちゃん、おばあちゃんの家にもらいに行きます。

「たくさん食べておおきくなれ。」

と、ふくろいっぱいのお米を持たせてくれます。こんなにくさんもらってしまつて、おじいちゃんたちの食べる分がなくならないか、しんぱいになります。おじいちゃんは、

「たくさんあるからだいじょうぶだ」と言います。ぼくは、たくさんできるお米がどうやって作られるか気になつて、四月にお父さんと

いっしょに種まきの手伝いに行きました。なえばこに土を入れて平らにします。それをべ

ルトコンベアにのせると、自動でたねがまかれま

す。そのあと、びょうきにならないためのくすり

の入った水がかけられます。また、そこに土をか

ぶせてなえばこのかんせいです。おじいちゃんは

いっしょけんめい働いていました。そのあと、

一か月くらい、毎日おじいちゃんが水まきをして、

おんども見ます。大きくなつたなえを田植えきで

植えます。秋まで草取りとひりようまきなどをや

ります。おじいちゃんは、毎日田んぼの様子を気

にしています。今は、70センチメートルくらいい

で大きくなりました。青々としたいねのなえの先

にたくさん実がなつて、重みであたまがたれさ

がつてきました。いねかりまでもう少しです。お

じいちゃんは、お米のことをいつも気にして、こ

うしてお世話をしているんだなあと思いました。

朝飛さんからひとこと

いつもお米をくれるおじいちゃんに感謝の気持ちを込めて書きました。おじいちゃんのおいしいお米のこと、お米がどのようにできるのかを思うと思いましたが、賞に選ばれた時は、クラスのみんなや家族がお祝いしてくれました。おじいちゃんもすごく喜んでくれて、お祝いのおこづかいをもらいました。頑張って書いて良かったと思いました。

ひとつぶのたねから、たくさんの実をつける、いねつてすごいなあと思いました。

ぼくはチャーハンが大好きです。お米ができな

いとチャーハンも食べられません。だから、お米

をつくっているおじいちゃんをおうえんしたいで

す。おじいちゃんががんばって作っているお米を、

大事にのこさず食べたいです。おじいちゃん、あ

りがとう。

